



桐花

大槌町立吉里吉里学園
小学部 通信 No 1 1
令和6年12月23日
文責 藤井

吉里吉里学園小学部の校報「桐花」は右のQRコードを読むことによってカラー版をご覧ください
ただくことができます。(大槌応援団サイトへ) →



児童会認証式

12月10日令和7年度吉里吉里学園小学部児童会認証式が行われました。令和7年度のリーダーとなる候補者による演説の後、信任確認を行い3年生以上全員の信任を受け、認証されました。演説では来年度に向け、それぞれがこんな学校にしたいという「願い」を力強く話してくれました。今後は現在の6年生にアドバイスを受けながら、3学期の期間を引継ぎ期間として活動します。



令和7年度新執行部と新委員長（敬称略）

児童会会長 佐藤 叶大
副会長 川原 理央 谷地 宏斗
議長 倉本 杏希 中村 真輔
書記 倉本 来稀 平野 愛依
保健体育委員長 関谷 翔瑠
図書委員長 川原 侑夢
放送委員長 関谷 凌汰

来年度のリーダーのみなさん

よろしくお願いします

児童会会長 佐藤叶大君の所信表明挨拶を紹介
します。

僕が児童会執行部会長に立候補した理由は二つあります。

一つ目は児童会会長の田中陽さんに憧れがあったからです。陽さんは決断力があり、切りかえが早くリーダーシップがあります。僕もそんな人になれるように努力します。

二つ目は、この吉里吉里小学校を今よりも笑顔あふれる学校にしたいからです。今の吉里吉里小学校は、まだ笑顔が少ないと思います。僕は全学年一人一人が毎日、笑顔で学校生活を送ってほしいと思っています。そのために、たてわり班遊びなどをして全校全員が毎日笑顔でいられるようにしていきたいです。小学部全員が笑顔になると、吉里吉里地区の人たちも笑顔になっていき、やがて吉里吉里地区全体が笑顔になると僕は思うのです。

そんな学校を目指すために、児童会の取り組で学校内でも地域でも笑顔で過ごす取組をしていきたいと考えています。みんながこの吉里吉里小学校を笑顔あふれる学校にしていきたいです。

みなさん、児童会執行部の会長として頑張る僕にご協力をお願いします。

認証式では、新執行部と新委員長の皆さんによる所信表明が同じようになされました。その内容は「笑顔 明るさ あいさつ いじめなし 地域との関わりや伝統を大切に 行事での協力・・・」で、聞いていてとても心が爽やかになりました。代表で話してくれた内容は参加した児童全員の願いでもあります。みんなで協力して新年度も頑張っていく事を確かめ合う時間となりました。

6年ふるさと科「新巻鮭作り」

鮭漁が不漁での中、漁協婦人部の東谷幸子さんのご協力頂き鮭を確保することが出来、今年も「新巻鮭作り」が行われました。新巻鮭の工程は2度に分けて行っています。一度目は鮭の内臓等を取り出したつぷりの塩に漬け込む作業、二度目は塩に漬け込んだ鮭を水で洗い流し塩を洗い流す作業です。指導は毎年お世話になっている田中昭仁さんと漁協婦人部のみなさんです。子ども達は一生懸命作業し今年も立派な新巻鮭が出来上がりました。昔からこの地域で行われ、全国に届けられた新巻鮭作りを通して地域の伝統を体験的に学ぶ機会となりました。



募金活動へのご協力ありがとうございました



募金額は以下の通りです

赤い羽根：16,200円 ユニセフ：7,122円

地域で育てる冬休み

この冬休みも地域の方々が子ども達のためにいろいろな行事を準備してくださいました。たくさん参加し冬休みを楽しんでほしいと思います。

12月25日(水)羽子板づくり

12月26日(木)凧づくり

12月27日(金)天照御祖神社参拝・奉仕作業

1月5日(日)新年餅つき大会

1月13日(月)凧あげ大会

※詳細は学校から配布済みの「地域で育てる冬休みの日程表」をご覧ください



全国歳末助け合い運動の取組として、児童会執行部の呼びかけによって今年も「赤い羽根共同募金」と「ユニセフ募金」に取り組みました。

集まった募金のうち、赤い羽根共同募金を12月17日に「大槌町社会福祉協議会」へ渡し、感謝状をいただきました。会長の徳田信也様からは、「募金に取り組んでいただきありがとうございます。この募金は大槌町の方々のために大切に使用させていただきます。」と児童会執行部に伝えられました。あらためまして、保護者の皆様方には、募金へのご協力に感謝いたします。なお、ユニセフ募金につきましては郵送にて送付いたします。

有意義な冬休みにしましょう

今年の冬休みは24日間です。3学期の授業日数が40日ですので、一日一日がとても大切な日であると思います。冬休みは自分自身の自由な時間がたくさん持てます。この時間を是非有意義に過ごしてほしいと思います。「たくさんの本を読んでみよう」「体力づくりを頑張ろう」「自由研究や工作にじっくり取り組んでみよう」「家庭の仕事を頑張る家の人に日頃の感謝を伝えよう」・・・この期間を通して何か一つ自分自身の成長につながることに挑戦してみましょう。挑戦して自信をつけた皆さんと3学期会えることを楽しみにしています。
(終業式校長挨拶の要約)